

## 未来に引き継ぐ水源の森づくり～松野木地区環境公共推進協議会の取組～ (西北地域県民局の巻 その 26)

はるな君 おべ様、五所川原市の松野木地区環境公共推進協議会ではいろんな活動を行っているけど、今年は何を行うの？

お べ 様 協議会の代表から、「地元としても森づくりに取り組みたい」との話があったんだ。少しでもお手伝い出来ればと思い、9月16日に「水源の森」で、松野木財産区、地元住民、県民局などを対象として、「森林整備体験」と「勉強会」をやることにしたので若者みんな参加してけろやあ～。



「水源の森」下流域に位置する大溜池



「水源の森」の広葉樹林

お べ 様 今回は地元の森林に造詣が深い、環境公共コンシェルジュの三森明さんを講師に招いているよ。森林の手入れの必要性や様々な役割について教えてもらおう。

三森講師 今日は皆さんと松野木地区の森林の歴史について勉強しながら、森林整備体験としてヒバの木を植えてもらいます。そして森づくりが地域に役立っている事を覚えていってください。

まずは、歴史から。松野木地区周辺は渇水の影響を受けやすい地域のため、江戸時代以前より「ため池」が作られてきました。また、この地区を流れる松野木川は農業用水や防火用水等の水源として重要な河川ですが、その上流域に位置する松野木財産区有林は、手入れ不足により森林の荒廃化が進みつつある状況となっています。ところで皆さんはヒバの木を知っていますか？

はるな君 青森県の木です。

三森講師 そうです。ヒバは青森県の県木で、秋田スギ、木曽のヒノキと並ぶ「日本三大美林」です。弘前城や長勝寺や岩木山神社などのお寺や神社はほとんどがヒバで建てられ、数百年たった今でも立派な姿でたたずんでいます。このように、ヒバは住宅建築材とし優れ、腐りにくくシロアリにも強いのが特徴です。

この松野木財産区有林の一部にはヒバが自生しています。皆さんにヒバの木を植えていただいて、ヒバを次世代の人たちに伝えて行きましょう。

はるな君 ほかの木と葉っぱが違うね。



森には癒やし効果があり気持ちが落ち着きます



**三森講師** ヒバは針のような葉をつける針葉樹の仲間なんだよ。針葉樹の他に、紅葉して落葉する広葉樹もあって、これらの木の落葉や枝が腐食して土となります。この仕組みが森づくりの原点です。こうした落葉や腐葉土は雨水に対してスポンジの役目を果たし、木々の根が地中の土砂をガッチリ掴み固定することで、土砂の流失、雨水の流れをコントロールします。森は大きな貯水槽なんですね。

**はるな君** でも、最近は台風の大雨などで土砂くずれや洪水が多発してるよね？

**三森講師** そうですね。近年森林の手入れが滞ったことで林内は暗く地表は土や根がむき出し状態の森林が増えたことが災害の増加につながっていると考えられています。そこで、松野木地区の水源の森づくりでは、暗くなった森林に間伐により光を入れ、ヒバを植えて地力を高めます。広葉樹と針葉樹を混合した森林が水を貯え、土砂を固定することで災害への効果を高めます。また、元気になった森林は多くの二酸化炭素を吸収し酸素を提供してくれます。そして「ため池」に安定的に水を供給します。普段何気なく使っている「水」は、このように供給され、食生活の礎となっています。

水源の森は松野木に住む皆さんの大切な森林です。それでは、ヒバを植栽してみましょう。



植え方を教わり、いざ植栽開始



ヒバは陰樹で、初期はこのような場所が適地です

**はるな君** 今、ヒバを植えたところは、森林の手入れがされていて気持ちがいいけど、伐採する木と残す木はどうやって決めるの？

**おベ様** いい質問だ。水源の森での伐採木の選定は、倒木、枯損木、折損木、病虫害木としているよ。ここは広葉樹も多いので、残しておけば将来ものになるミズナラやコナラといったドングリの木（キノコのホダ木として利用）などを残しているんだ。道路脇にいい広葉樹があるので、三森講師に聞いてみよう。

**三森講師** この木はホオノキといって、森林の中では楕円形の大きな葉が目立ち、幅広い用途に使われている有用樹種です。材は加工するのにちょうどよい硬さで、いろんな用途に用いられています。代表的なものとして版木や下駄があります。また、葉も大きいことから、食べ物やキノコなどを包んだりするのに使われています。



水源の森には広葉樹も豊富に存在します



開設した作業道をみんなで草払い

**おベ様** 協議会の目標として、整備された水源林を関係者が連携して維持管理していくことにしています。そこで、作業道アスナロード 1 号線の草払いを行い、今回の森林整備学習会の締めとします。これからも地域の皆さんと活動していきます。